



1 所沢駅西口土地区画整理事業と市街地再開発事業の設計図 2 所沢市みどりのふれあいウォーク (27年5月23日) 3 ㈱KADOKAWAが東所沢和田に建設を予定している「(仮称)ところざわサクラタウン」 4 ファルマン通り交差点の改良事業 5 ママの手であちゃんとコミュニケーション・ベビーマッサージ (3月17日/新所沢東まちづくりセンター)



4 交差点が正十字型になります 中央通りの道幅が32m



3 所沢浦和線の道幅が15mに 施設建築物

平成28年 市長施政方針



「5つの思い」と「+1」を支える「⑦成長作戦」

2月24日開会の平成28年所沢市議会第1回定例会で、藤本正人市長が演説した「28年の施政方針」の概要です。全文は、市庁(市長メッセージ)で検索、ご覧いただけます。
 経営企画課 299819027

市政運営の基本的な考え方 5つの思い+「プラス」1

私が市長を志した原点は東日本大震災と原発事故です。その教訓を忘れることなく、震災を経験した私たち大人の使命は「継承」にこそあるのだと、覚悟して、今が良ければそれで良い、ではなく、未来の子もたちが何を残し伝えるのか、そのために今何をすべきなのか、を意識して4年間市政に取り組んできました。

継承すべきは、人と人が絆で支え合い、一人一人が人間力を発揮する社会、そして、人は自然の一部にすぎないのだと弁え、人と自然が共生する社会です。

そんな社会を創り上げるために「思うより、批評するより、自ら動く実践者となるうー」の信念で、これからも取り組んでまいります。この4年間それぞれの立場の人がそれぞれの力を発揮してきたことで、例えていえば「大きな岩がゴロリと動き始めた」そんな感じがあります。

だから本年も、市民の皆様、議員各位、1000有余の市職員と心と力をあわせて、良い意見はどんどん取り入れチャレンジし、市民の新たな幸せ実現のため力を尽くしてまいります。

具体的な政策は「教育・子ども」「環境」「福祉・自治」「文化・ブランド」「行政」の各分野に対する「5つの思い」に、今回新たに「1+1 健康長寿」を加えたものを市政運営の柱とし、着実に取り組んでまいります。

人にも街にもあついで「ハート&ハード」 未来に向けた積極予算

一般会計の総額は約989億円(前年度当初予算比+約62億円/同+6.7%)、特別会計・事業会計を加えた合計は約1,852億円(同+約58億円/同+3.2%)です。歳入は、投資的事業の多い中、市債発行約76億円、前年度に比べ約27億円を増額して対



平成28年所沢市議会第1回定例会 (2月24日)

処し、6つの公約や第5次総合計画基本構想に掲げた将来都市像「所沢発 みどり笑顔にあふれる自立都市」を持続可能とするための投資的積極予算、名付けて「人にも街にもあついで「ハート&ハード」未来に向けた積極予算」としました。(28年度の予算概要は5月号でお知らせします。)

①教育・子ども 日本一、子どもを大切にできるマチ 所沢

「子どもを大切にすること」とは、子どもの発達に気づいてしっかり抱きしめ、見守り、独り立ちする力をつけてやること。伝えるべきことを逃げないで大人として伝えていくことではないかと感じています。

教育力の質の向上では、27年度から開始した学力向上支援講師、図書館担当教員補助の学校司書を増員します。

「子どもを大切にできるマチ」をさらに推進し、全国的にも事例が少ないフット式太陽光発電設備を松が丘調整池に設置します。東部浄水場に小水力発電設備(仮称)所沢市子ども福祉の未来館や西部グリーンセンターにも太陽光発電設備などを整備します。

②環境 エネルギーの自立、マチごとエコタウン 所沢

所沢に残る豊かな自然環境は、所沢の魅力であり宝です。ミヤコナゴが泳ぎホタルが舞う、そんな自然を取り戻したい。「マチごとエコタウン所沢構想」に基づき、自然エネルギーの普及やよどりの保水、ごみの減量・資源化などに取り組んでいくことで、次代を担う子どもたちに「ふるさと所沢」の素晴らしい環境を創造し継承します。

「埼玉エコタウンプロジェクト」をさらに推進し、全国的にも事例が少ないフット式太陽光発電設備を松が丘調整池に設置します。東部浄水場に小水力発電設備(仮称)所沢市子ども福祉の未来館や西部グリーンセンターにも太陽光発電設備などを整備します。

狭山湖周辺の魅力を十分に満喫していたら、地域住民や散策者の安全を確保するため、三ヶ島、小手指、山口を結ぶ人道橋の概略設計を進めます。

県の事業「あの手この手で木陰づくりプロジェクト」を利用して保育園や学校に潤いのある木陰づくりを進めます。

集積所での古着・古布の分別収集を開始。学校給食での牛乳パックのリサイクルを本格導入します。

③福祉・自治 人と人の絆を 実感できるマチ 所沢

福祉に関わる市民の念願であった「(仮称)所沢市子ども福祉の未来館」は、29年1月の開設に向け、準備を進めています。

認知症の増加で成年後見制度の必要性が高まっていることから、市民後見人候補者養成事業を推進します。

新たに50歳以上80歳以下の5歳刻みの男性を対象に、前立腺がん検診を実施。引き続き国民健康保険加入者に、生活習慣病重症化予防対策を実施します。

④文化・ブランド 文化の風 薫るマチ 所沢

ふるさと所沢のもつ文化、市民のもつ文化的素養、そつたものが相まって、所沢って文化のマチだね、そう言われるような誇りあるまちづくりを目指します。

農商工連携推進事業で作られた商品をふるさと応援寄附品に採用し、所沢ブランドを推進。27年度、市内で映画やテレビ番組などの撮影が83件(1月末時点)あったロケーションサービス事業では、円滑な撮影ができるよう支援を行い、所沢の魅力を発信します。2020年の東京オリンピック・パラリンピックを大きなチャンスととらえ、選手の応援イベントの開催や大会情報の発信と、市民

体育館や国立障害者リハビリテーションセンター、早稲田大学所沢キャンパスなどの体育施設がキャンパ地地となるよう誘致活動を進めます。

⑤行政 超親切的な市役所 所沢

「公務員は市民のためにある」のブランドで120%の力を発揮しながら、チームワークをもって市政に取り組みます。

4月から市税の口座振替納税が専用端末でできる「ペイジー口座振替受付サービス」を開始。ほかにも、マイナンバーカードの本人認証を利用し、コンビニエンスストアで住民票などが取得できるサービスを開始します。

7月から市役所1階にバスポートセンターを暫定的に設置し、月々金曜日の申請・交付の届け出、粗大ごみの収集依頼、がん検診の申し込みなどができる電子申請共同システムを更新します。

「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「COOL JAPAN FOREST構想」を集中的に推進していくため、総合戦略の一部を借りて移動し、駐車場も増やします。引き続き2人の職員を若手県大穂町へ派遣して被災地支援を続けます。

⑥健康長寿 思わず歩きたくなる ステキなマチ 所沢

これまで施策を進めてきた5つの思いに加え、新たに「健康長寿 思わず歩きたくなるステキなマチ 所沢」に取り組めます。ケンコウのことは、あえて「幸せ」という字を充てました。長寿と健康は相まって幸せと考えるからです。

「健康長寿のマチ所沢」を目指し、日本光電工業(株)、早稲田大学人間科学学術院、そして市が産学官協定を結んで連携して、健康寿命を男女とも県内1位を目指します。具体的には「歩く」ことに焦点をあて、名

付けて「トコロン健康マイレージ」制度を始めます。歩数などを測定する活動量計を貸し出します。参加者は「歩く」とポイントがたまり、商品などに交換できることから継続して健康づくりに取り組めます。

⑦成長作戦 動き出した街づくりを 成功させます!

人口の急激な減少の抑制と地方創生に対応して「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を進めています。特に「COOL JAPAN FOREST構想の推進」

「産業用地創出による産業振興」「所沢駅周辺の開発とまちの活性化」「水とみどりがつくるネットワークの構築」は「重点プロジェクト」として優先的に実行します。

米軍所沢通信基地の東西連絡道路は、工事に着手して31年度中の供用開始を目指します。旧市庁舎と旧文化会館跡地は、中心市街地にふさわしい活用方法を検討。所沢駅西口地区は、市の表玄関として魅力と活力あるまちを創出するため、所沢駅西口地区画整理事務所を設置し、土地区画整理事業と市街地再開発事業の一体的な施行によるまちづくりを進めます。

むすび

私は、これまで「動け!所沢 紡ごう!絆」を合言葉に、市政運営に取り組んできました。28年度、市として取り組む仕事の量は格段に増えることとなりますが「公務員は市民のためである」のプライドとチームワークの和をもって力を尽くしてまいります。

そうやって、善きふるさと所沢、未来の子どもたちに継承していくことはありませぬか。大人としての矜持を持って、一緒に汗してまいります。

所沢市長 藤本正人